

研究課題名：麻酔科管理による帝王切開術を受けた妊婦の周産期予後

I. 研究目的と意義：

当院での麻酔科管理の帝王切開は2013年度より開始しています。年間3000件以上の分娩件数のうち、反復帝王切開や合併症の多い麻酔科管理帝王切開に焦点を置き、年齢別にリスク因子を抽出することを目的としています。特に近年増加傾向にある高年齢産婦のハイリスク因子を調べ、学会発表などで公にすることで母体急変や妊産婦死亡の減少につながり、安全な周産期診療を提供することを目標とします。

II. 研究方法：

診療録の記載からデータを収集します。

III. 対象とその期間

2013年5月29日～2017年9月30日の間に麻酔科管理下で帝王切開を受けた方を対象とします。

IV. 予測される結果(利益・不利益)について：

診療の記録を後から分析しますので、診療の時点での利益・不利益はありません。

V. 個人情報保護について：

研究にあたり、個人情報を直接同定できるような情報は使用されません。

また、研究の発表時にも個人情報は使用されません。

VI. 研究成果の公表について：

この研究成果は、学会発表および学術論文として公表される予定です。

VII. 費用について：

謝礼などはお渡ししておりません。

本研究への登録をご希望されない方は下記までご連絡ください。

問い合わせ先

日本赤十字社医療センター 麻酔科

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

担当者：大角 香穂

TEL03-3400-1311 FAX03-3409-1604